

土曜日事業のペットボトルロケット

人材育成委員会 笹谷 康之

10月11日(土) 午前、参加者親子15組33名、ボランティアの中学生66名、まち協を含めて土曜事業実行委員会10名、小学校・中学校の教員6名の、計115名が参加して、菩提寺小学校でペットボトルロケットを作って飛ばしました。小学生とその親を対象とした土曜日事業ですが、中学生ボランティアの方が多いことになりました。↑



まち協の新ホームページができました

広報部長 笹谷 康之

おかげさまで、10月1日、まち協に新しいホームページがオープンしました。広報委員だけでな



く、研修を受け登録されたまち協メンバーがみんなで情報発信します。パソコンだけでなく、スマートフォンからも見やすく対応しています。(編集後記を兼ねて)

菩提寺まちづくり協議会

ご挨拶

最新記事

甲西北中学校の生徒と竹林整備

野洲市自治体議会 県内視察研修に来られる

子育て支援事業「すくすく広場」開催のお知らせ

菩提寺学区親善ソフトボール大会

ぜひホームページをご覧ください。

ホームページ <https://www.bodaiji.org/>

いつも、大人が、ペットボトルへの空気入れで、大変な労力を使っていましたが、元気な中学生が多くて、助かりました。ありがとうございました。



平成26年12月25日
まち協だより26号

事務局 菩提寺まちづくりセンター内 Tel 0748-60-1381

発行責任者 事務局長 松本 高治

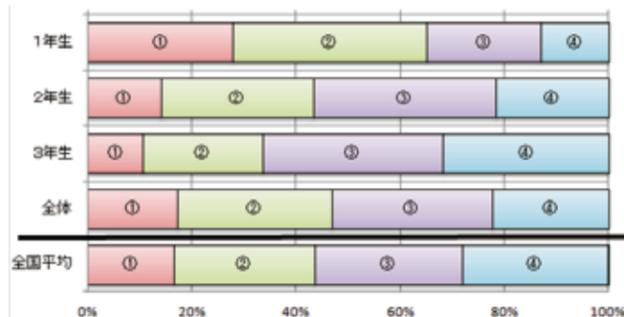
地域の力を学校へ・中学生の力を地域へ

甲西北中学校長 田邊 忍

本校は今年度「学校支援地域本部」を立ち上げ、地域と協働する学校づくりを進めています。地域の方には学校に来ていただき生徒の学習・活動支援を、中学生には積極的に地域活動に参加し、地域の一員としてできることで貢献することを勧めています。中学生にはすばらしい力があり、少子高齢化が進む中で、中学生の力はますます地域活動の中で必要になってくると思われます。

下記のグラフは、10月に実施した本校生徒アンケート結果の抜粋です。生徒が地域の行事に参加することは、地域の一員として育つ機会にもなります。そして、地域とのつながり体験は、すべての生徒につけるべき「生きる力」や「自己有用感」をはぐくみます。地域でも中学生に積極的に声をかけていただき、できたことは褒めてやってください。

問 今住んでいる地域の活動に参加している



①当てはまる ②どちらかといえば ③どちらかといえば ④当てはまらない
当てはまる 当てはまらない

平成28年度には、本校は創立30周年を迎えます。「地域の力を学校へ 中学生の力を地域」への合言葉のもと、皆さまからのご理解とご支

援をいただきながらこれからも進めてまいります。今まで以上のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

甲西北中のボランティアが竹林整備で活躍

地域活性化委員長 保田 芳利

11月29日(土)に甲西北中学校の生徒12名と引率の先生のご協力を得て竹林の整備作業を行いました。甲西北中学校の生徒さんは野球部員の1,2年生です。岩根地区からも4名の生徒さんが参加してくれました。

8時に菩提寺まちづくりセンターに集合して、徒歩で竹林に移動、8時15分から作業を開始しました。当日はあいにくの雨模様で、雷が鳴り激しく降った時は、バンブーハウスに避難しました。しかし、服を汚しながらも廃竹を運搬して、トラックに載せていただき11時30分に作業は終了しました。

中学生の皆様のご協力のお陰で、初期の目標を達成することができ、竹林がきれいに片付きましたことを喜んでいます。ありがとうございました。



★5ヶ年計画ダイジェスト版★

◆5ヶ年計画策定と取組みの経緯◆

湖南省まちづくり協議会に向けて、勉強会「湖南省まちづくり講座」が、平成25年8月に5回開かれました。この講座を受けたのち、新しい公共推進課より、平成25年末までに、7つのまちづくり協議会に、5ヶ年計画を提出するようとの要請がありました。

菩提寺まちづくり協議会では、この要請に基づき、山口会長一任の基に、5ヶ年計画策定チーム（9名）を立ち上げ、1回、3時間、5回の会合、計15時間の策定作業を行い、ビジョン、行動プランを作り上げ、年内に5ヶ年計画を、中間報告として提出しました。（最終報告は、H26/3月）年が明けて、平成26年1月～3月に、各委員会に、この5ヶ年計画を展開して、平成26年度の総会に向けて、この5ヶ年計画を反映した、事業計画の作成作業を、各委員会に要請しました。

平成26年5月の総会には、各委員会より、5ヶ年計画を反映した事業計画を、議案として提出しました。

◆ビジョン（5年後のありたい姿）◆

「新たな地域活性化の拠点である新まちづくりセンターを核にした新しいまちづくりを展開」

1. 安心安全でいつまでも暮らしやすいまちづくり。
2. 全住民が自主・自律と共生・協働を旨とし互いに切磋琢磨し自由闊達に活動するまちづくり。
3. 自然環境と文化歴史遺産を生かした美しい環境のまちづくり。

◆行動プラン（内容）◆

- 学区全体の防災体制確立、 ●治安と秩序の良いまちへの改革、 ●生活環境の快適なまちへの改革、
- 新まちづくりセンターを地域情報の発信の場にする、 ●高齢者が生き生きと活躍できる場づくり、
- 現役世代が核となって活動するまちづくり、 ●子供たちの健全な成長を育むまちづくり、
- 将来のリーダー育成とまち協体制と組織づくり、 ●自主財源の確保、
- 自然を大切に、触れ合うまちづくり、 ●文化歴史を未来につなぐまちづくり



◆各委員会の平成26年度、平成27年度の最重点取組み◆

●福祉安全委員会

☆平成26年度 防災、防犯の啓発、普及の年とします。

☆平成27年度 新まちづくりセンターを、防災、防犯の拠点とする活動を展開します。
新まちづくりセンターを、子育て支援センターとする活動を展開します。

●文化芸術委員会

☆平成26年度 新まちづくりセンター内に、歴史文化展示室開設準備の年とします。

☆平成27年度 新まちづくりセンター内に、歴史展示室の開設と運営開始の年とします。

●人材育成委員会

☆平成26年度 人材確保のため、人材募集作戦を展開します。

☆平成27年度 人材育成の年とします。各種ボランティア団体と連携プレー展開の年とします。

●地域活性化委員会

☆平成26年度 竹林でのシイ茸、ヒラタケの栽培と販売、竹の子育成を行います。

☆平成27年度 竹林維持とバンブーハウス(2基目)の建設、コミュニティービジネス起業の年とします。

新菩提寺まちづくりセンター 指定管理者の経過報告

運営検討委員会事務局 松本 高治

平成26年度のまち協総会において、山口会長より、新菩提寺まちづくりセンターの指定管理者として、菩提寺まちづくり協議会は、対応(立候補)していく事を、基本方針で表明されました。湖南省からの指定管理者向けの説明を受け、8月の合同役員会で、立候補のための申請書を提出する事の承認を受けて9月22日(月)に、湖南省に申請書を提出しました。

10月16日の選定委員会審査は無事にパスしました。12月湖南省の定例議会で、議決されれば指定管理者として、正式に認定を受けます。

現在、まち協は指定管理者として、4月1日の開所に向けて、運営検討委員会を立ち上げて、開所の準備作業を行っています。運営検討委員会の構成メンバーは、まち協4役、まち協の各委員長と選出メンバー、選出区長、各区選出メンバー、選出商店会メンバーと3名の婦人委員の方々です。

まちづくりセンター指定管理者制度の導入スケジュール

作業期間	導入作業項目	まちづくり協議会の作業
1月下旬～3月下旬	各センター指定管理移行確認	待ち
4月下旬～5月下旬	移行確認団体協議	待ち
6月上旬～8月下旬	移行団体支援 ・各まち協個別説明 ・基本協定書や事務的業務内容及び施設管理委託内容、備品整理などの質問・回答他	説明・協議を受けて計画書の準備開始
8月下旬～9月下旬	・募集要項および仕様書配布(8月25日(月)～8月29日(金)) ・申請受付期間(9月22日(月)まで)	事業実施計画書作成(申請書提出)9/22日
10月16日(木)	第2回湖南省指定管理者候補者選定委員会において専決処分の報告	まち協受託体制準備
12月中	12月定例議会 指定管理の指定	議会・議決を受けて職員採用・募集を開始 ・正規 2人 ・パート等
平成27年1月～3月	管理運営移行準備 基本協定書(H27.2月上旬まで) 単年度協定書の締結(H27.4.1)	職員臨時 雇用予定 業務引き継ぎ
4月1日	新菩提寺まちづくりセンター開所	指定管理業務開始